

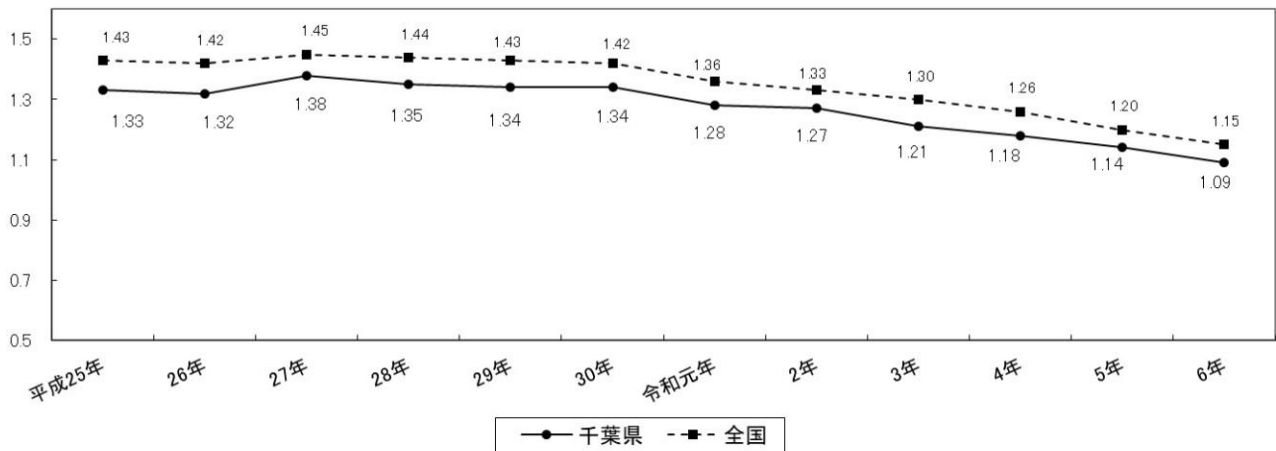
VII 健康

1 出産等に関する状況

(1) 合計特殊出生率の推移

「人口動態統計」によると、千葉県における合計特殊出生率(一人の女性とその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当)は、平成28年より減少傾向となっています。

図表VII-1 合計特殊出生率の推移(千葉県・全国)

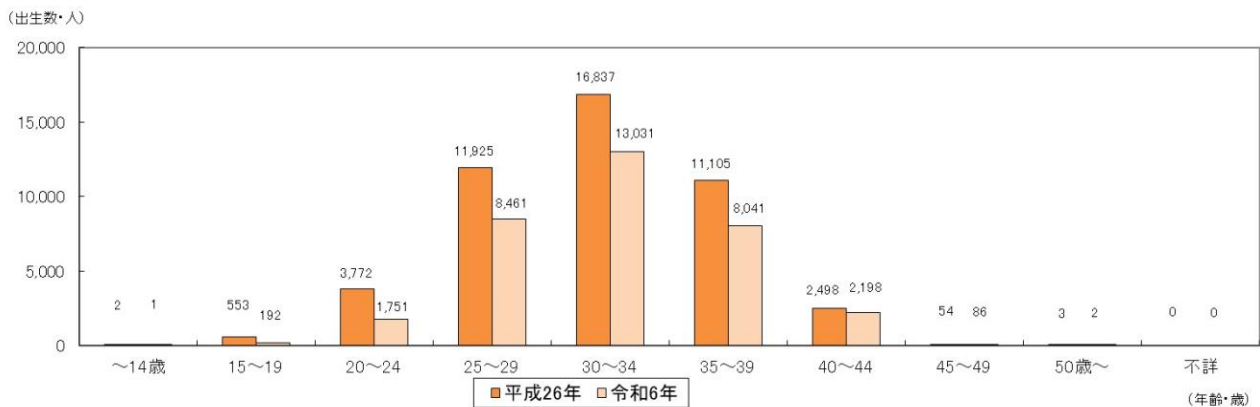


資料出典:厚生労働省「人口動態統計」(令和6年)

(2) 母の年齢階級別出生数の推移

母親の出産年齢と出生数について10年前と比較したところ、平成26年、令和6年とも30歳から34歳の階級が最も多くなっています。令和6年は、45～49歳の階級で増加している一方、それ以外の階級で減少しています。

図表VII-2 母の年齢階級別出生数の推移(千葉県)



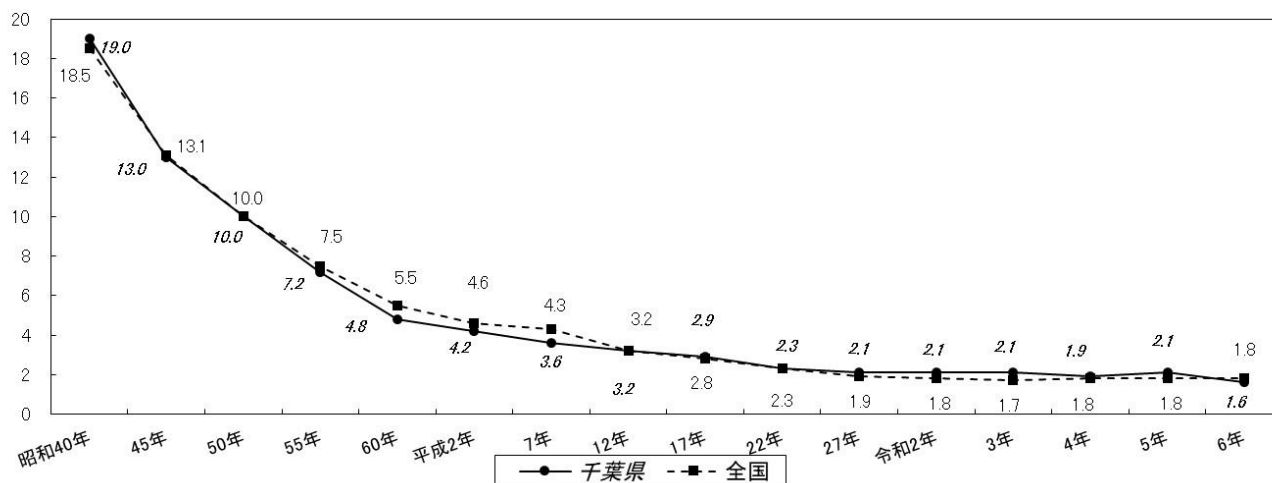
資料出典:厚生労働省「人口動態統計」(令和6年)

(3) 乳児・新生児死亡率の推移

「人口動態統計」によると、千葉県の乳児死亡率と新生児死亡率は、昭和50年頃までともに急速に低下しましたが、近年では、乳児死亡率は1.6～2.3、新生児死亡率は0.6～1.1と横ばいで推移しています。

図表VII-3 乳児死亡率*の推移(千葉県・全国)

(出生千対)

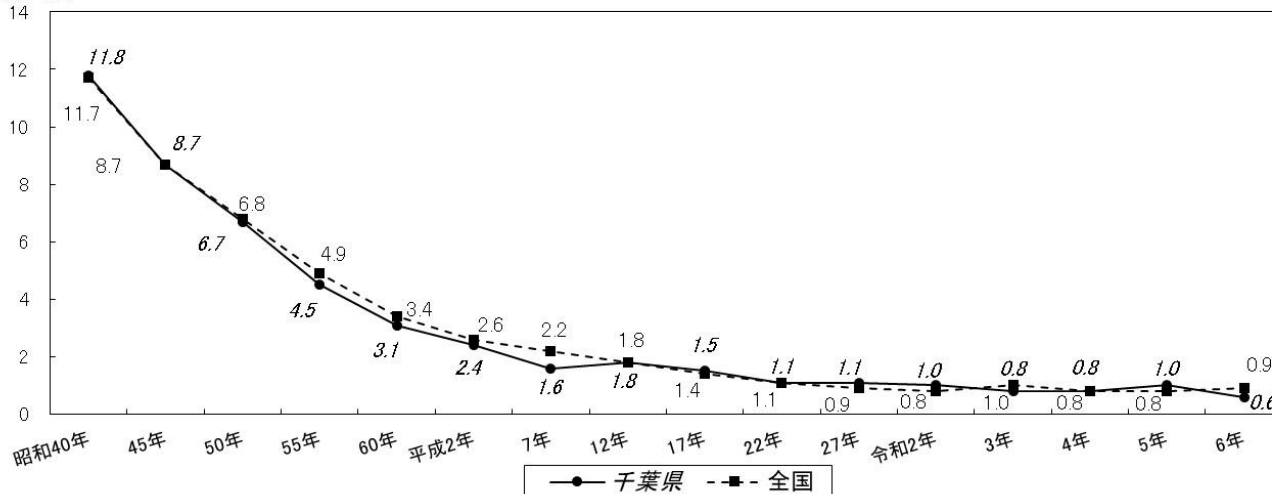


*乳児死亡:生後1年未満の死亡

資料出典:厚生労働省「人口動態統計」(令和6年)

図表VII-4 新生児死亡率*の推移(千葉県・全国)

(出生千対)



*新生児死亡:生後4週間未満の死亡

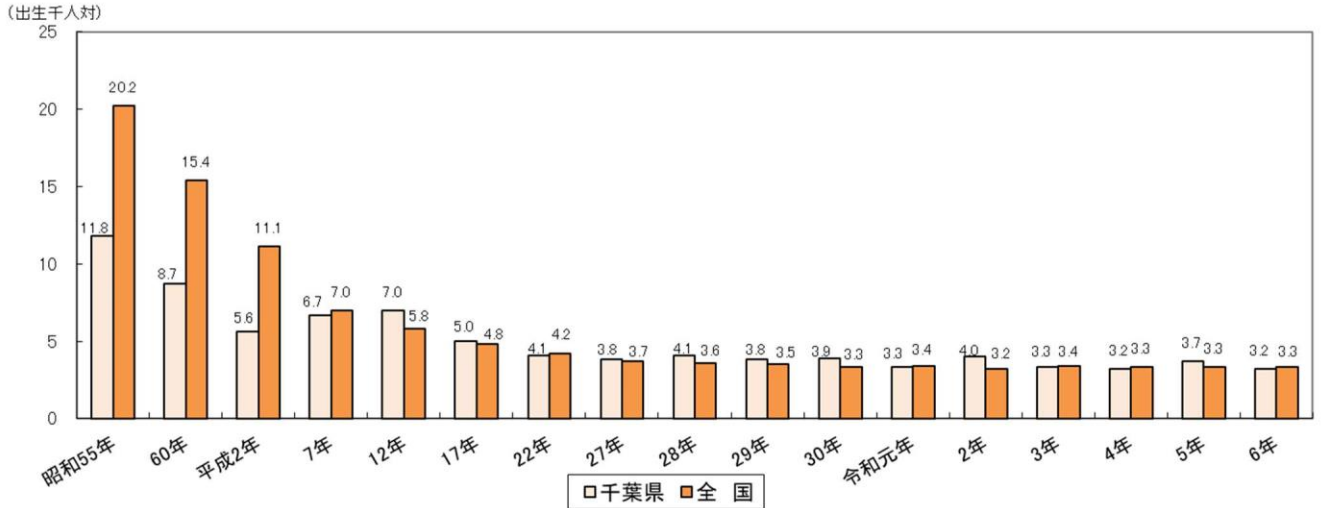
資料出典:厚生労働省「人口動態統計」(令和6年)

第1部 千葉県における男女共同参画の状況 VII 健康

(4) 周産期死亡率の推移

令和6年の「人口動態統計」によると、千葉県の周産期死亡率は3.2であり、ここ数年はほぼ横ばいです。

図表VII-5 周産期死亡率*の推移(千葉県・全国)



* 周産期死亡率:【年間周産期死亡数】÷【年間出産数(出生数+妊娠満22週以降の死産数)】×1,000

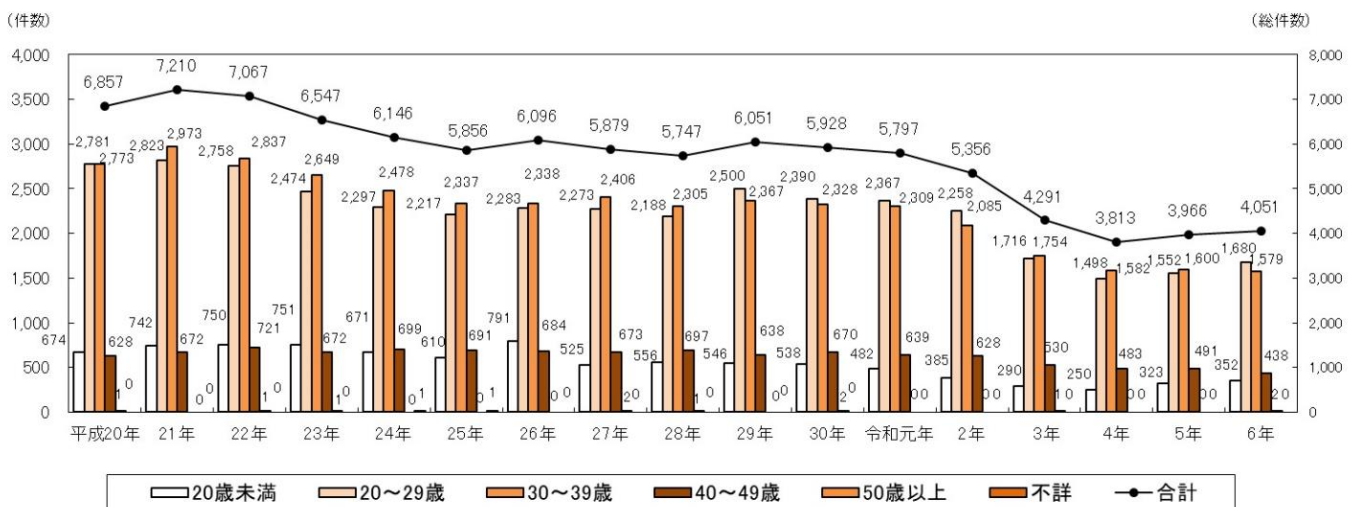
出産1000に対する周産期死亡(妊娠22週以後の死産数に早期新生児死亡を加えたもの)の割合で、国又は地方の産科医療の水準を表す指標の一つとされている。

資料出典:厚生労働省「人口動態統計」(令和6年)

(5) 人工妊娠中絶の状況

「衛生行政報告例」により、千葉県における年齢階級別人工妊娠中絶の状況をみると、平成29年から減少し、令和4年からはほぼ横ばいで推移しています。

図表VII-6 年齢階級別人工妊娠中絶の状況(千葉県)



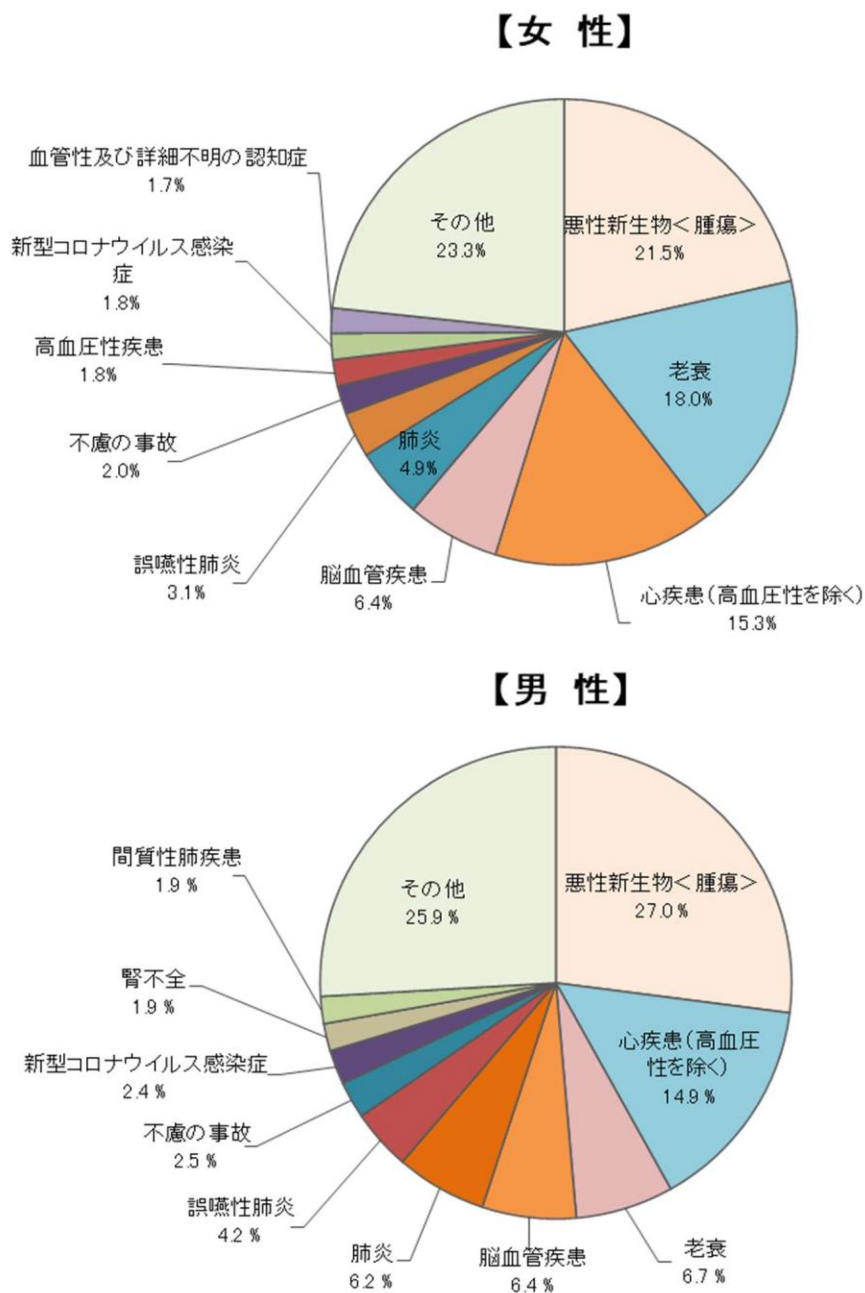
資料出典:厚生労働省「衛生行政報告例」

2 こころとからだの健康

(1) 主な死因の構成割合

令和6年の男女別の死因をみると、男女ともに「悪性新生物<腫瘍>」による死亡が最も多くなっており、特に男性でその割合が高くなっています。次いで、女性では「老衰」、男性では「心疾患(高血圧性を除く)」の割合が高くなっています。

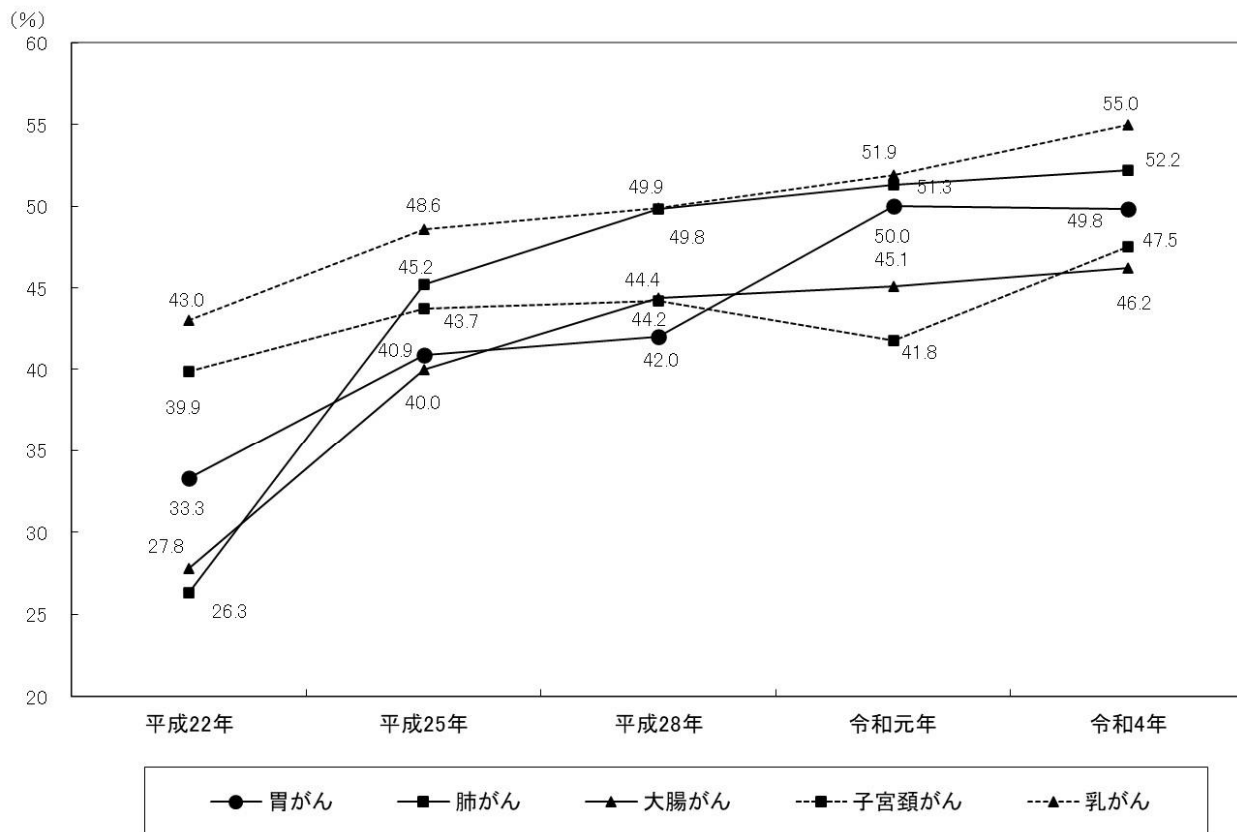
図表VII-7 男女別主要死因の構成割合(千葉県)



資料出典:厚生労働省「人口動態統計」(令和6年)

(2)がん検診の受診率

図表VII-8 がん検診の受診率(千葉県)



資料出典:厚生労働省「国民生活基礎調査(千葉県分)40～69歳 過去1年間の受診率

※胃がんは平成22年、平成25年、平成28年は40～69歳の過去1年間の受診率、令和元年、令和4年は50～69歳の過去2年間の受診率

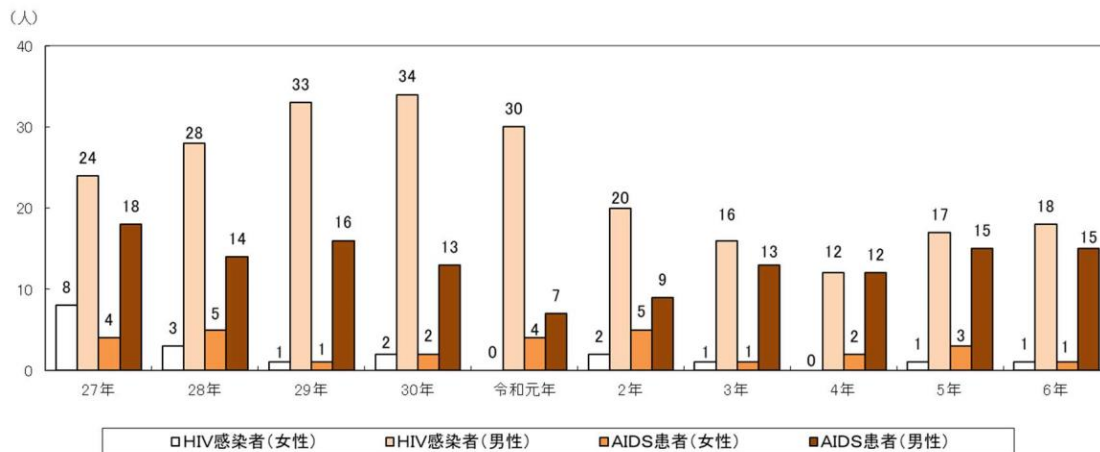
※乳がんは過去2年間の受診率

※子宮頸がんは20～69歳の過去2年間の受診率

(3)HIV感染者・AIDS患者の数

HIV感染者・AIDS患者の新規届出の90%以上を男性が占めています。

図表VII-9 男女別 HIV 感染者・AIDS 患者届出状況(千葉県)

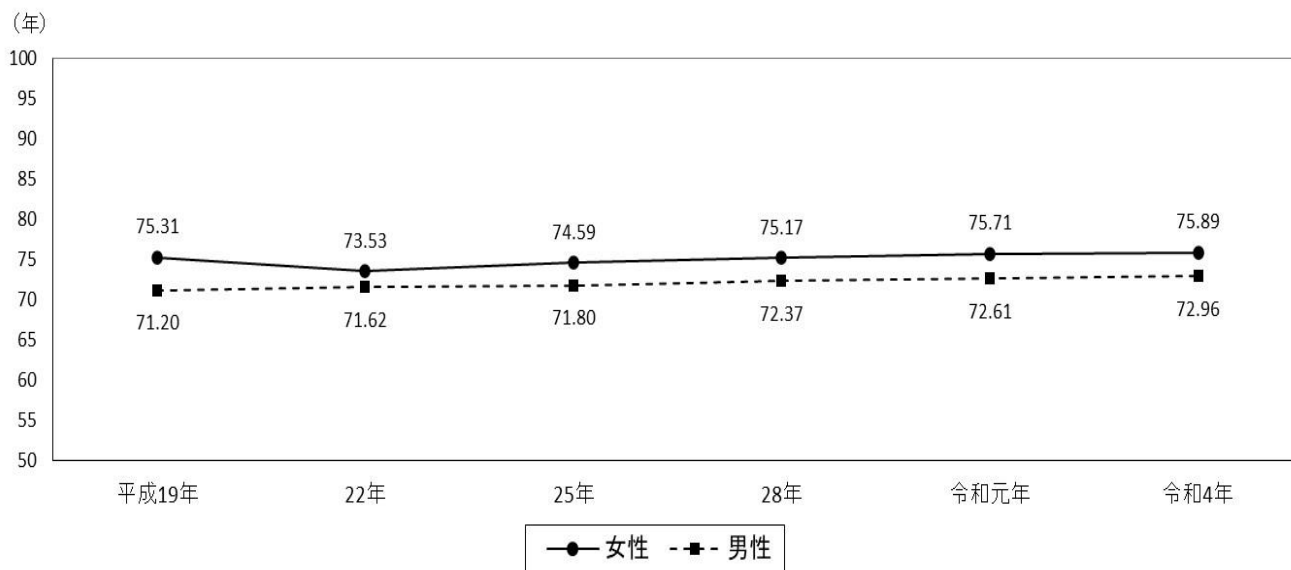


資料出典:千葉県疾病対策課

第1部 千葉県における男女共同参画の状況 VII 健康

(4)健康寿命の推移

図表VII-10 男女別健康寿命の推移(千葉県)

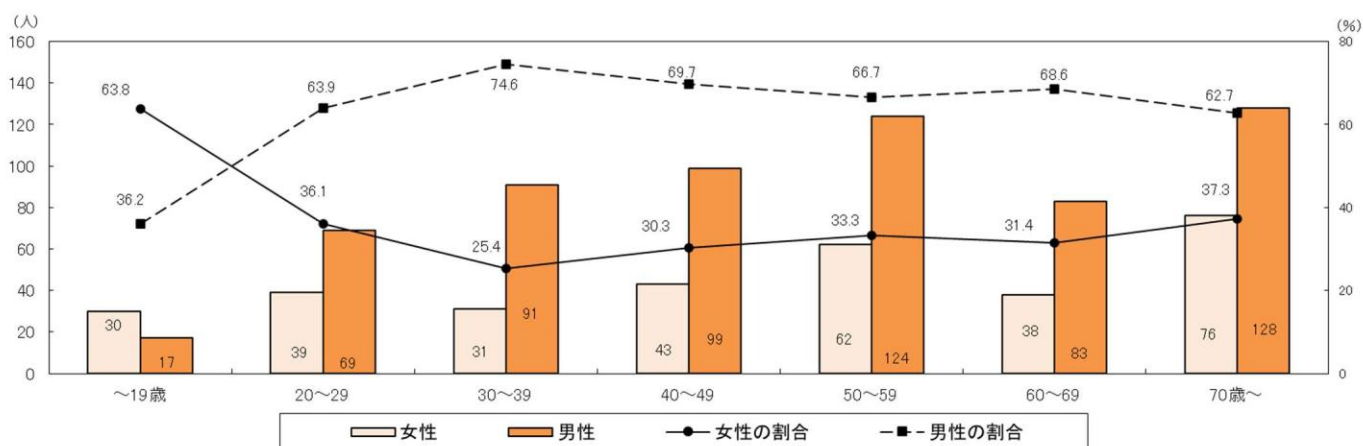


資料出典:厚生労働省公表

(5)自殺者の状況

自殺者総数に占める男女別・年齢階級別の割合を見ると、19歳以下を除く年代で男性の割合が高くなっています。また、女性は、19歳以下が63.8%と最も高く、次いで、70歳代、20歳代の順となっています。

図表VII-11 男女別・年齢別自殺者数(千葉県)

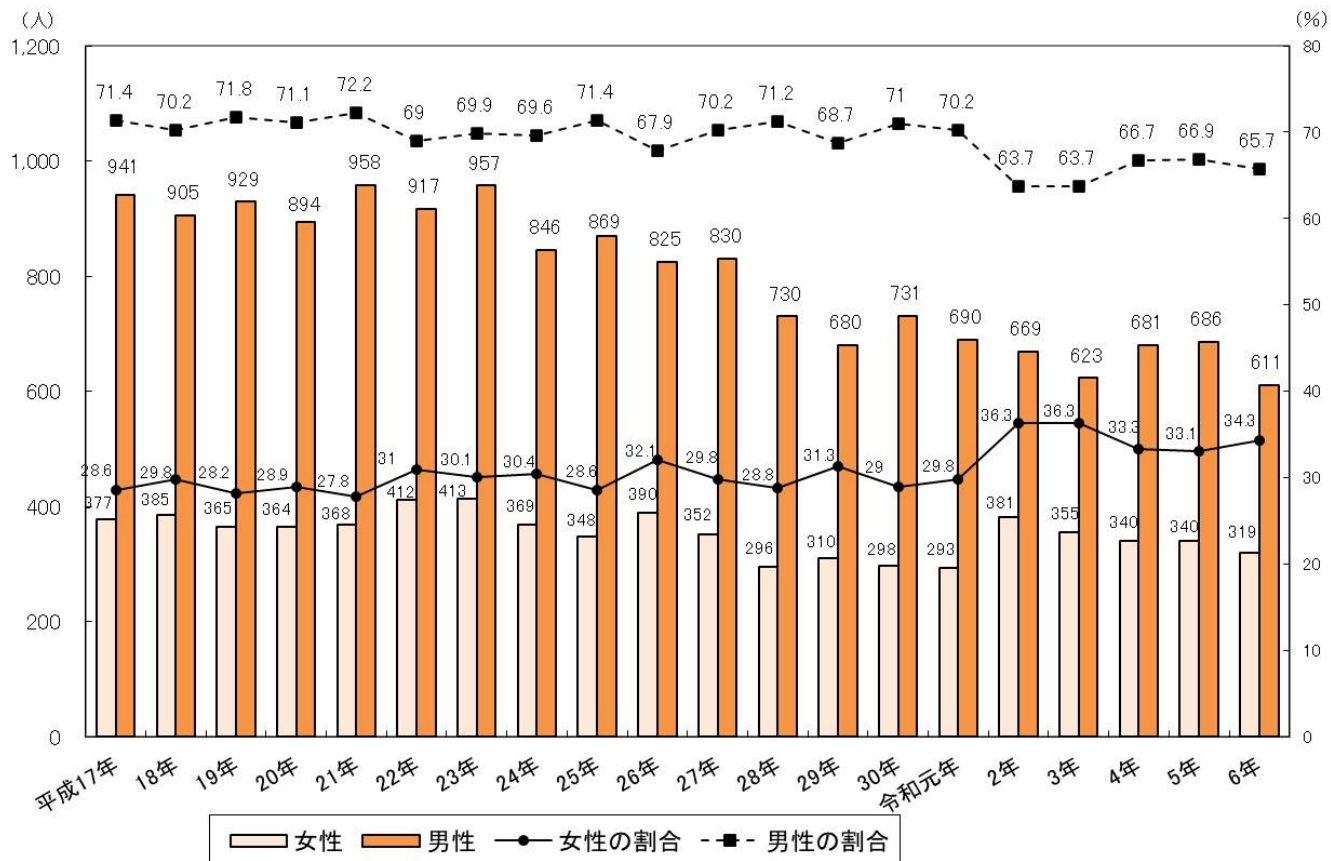


資料出典:厚生労働省「人口動態統計」(令和6年)

第1部 千葉県における男女共同参画の状況 VII 健康

自殺者総数に占める男女別の割合について推移を見ると、男性は令和5年66.9%から令和6年65.7%と1.2ポイント減少する一方で、女性は令和5年の33.1%から令和6年の34.3%と、1.2ポイント増加しています。

図表VII-12 自殺者数の推移(千葉県)



資料出典:厚生労働省「人口動態統計」(令和6年)